

2021年7月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 清水建設株式会社

コード番号 1803 URL <https://www.shimz.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 充穂

TEL 03-3561-1111

四半期報告書提出予定日 2021年8月2日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	316,640	0.8	2,536	△81.2	4,441	△74.7	2,776	△66.3
2021年3月期第1四半期	314,239	△23.6	13,528	△51.3	17,557	△42.8	8,249	△66.0

（注）包括利益 2022年3月期第1四半期 △3,316百万円（－％） 2021年3月期第1四半期 17,062百万円（143.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	3.66	—
2021年3月期第1四半期	10.81	10.81

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,824,474	799,956	43.5
2021年3月期	1,908,674	821,446	42.7

（参考）自己資本 2022年3月期第1四半期 793,904百万円 2021年3月期 815,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	12.00	—	18.00	30.00
2022年3月期	—				
2022年3月期（予想）		11.50	—	11.50	23.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2021年3月期の中間配当金には、特別配当2円、期末配当金には、特別配当8円が含まれております。
2022年3月期（予想）の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当1円50銭が含まれております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,550,000	6.4	76,500	△23.6	77,000	△27.0	58,000	△24.8	76.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	788,514,613株	2021年3月期	788,514,613株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	34,069,220株	2021年3月期	25,661,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	759,041,447株	2021年3月期1Q	762,856,255株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び本日（2021年7月30日）公表の「決算説明資料」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響下で経済活動が一定の制約を受け、個人消費や雇用情勢が弱い動きとなったものの、設備投資や輸出入、企業収益などにおいて持ち直しの動きが続きました。

建設業界においては、官公庁工事の受注が堅調に推移したことに加え、感染症の影響により減少していた民間工事の受注にも回復傾向が見られ、業界全体の受注高は前年同期を上回る結果となりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高の増加により、前年同期に比べ0.8%増加し3,166億円となりました。

利益については、完成工事高は増加したものの、工事採算の低下に伴う完成工事総利益の減少や開発事業等総利益の減少、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前年同期に比べ81.2%減少し25億円、経常利益は74.7%減少し44億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は66.3%減少し27億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、PFI事業等棚卸資産や未成工事支出金の減少などにより、前期末に比べ841億円減少し1兆8,244億円となりました。

負債の部は、連結有利子負債や支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ627億円減少し1兆245億円となりました。

なお、連結有利子負債の残高は3,870億円となり、前期末に比べ356億円の減少となりました。

純資産の部は、自己株式の取得や保有株式の時価の下落等に伴うその他有価証券評価差額金の減少などにより、前期末に比べ214億円減少し7,999億円となりました。また、自己資本比率は前期末に比べ0.8ポイント増加し43.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2021年5月10日に公表しました業績予想を修正していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	214,321	135,724
受取手形・完成工事未収入金等	484,445	506,550
有価証券	62,000	120,000
販売用不動産	3,158	2,970
未成工事支出金	69,538	33,300
開発事業支出金	17,143	18,104
PFI事業等棚卸資産	52,086	1,741
その他	112,062	100,832
貸倒引当金	△1,157	△1,091
流動資産合計	1,013,598	918,133
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	182,473	188,468
土地	250,111	254,499
その他(純額)	69,314	79,966
有形固定資産合計	501,899	522,934
無形固定資産	19,140	19,248
投資その他の資産		
投資有価証券	355,679	344,766
その他	20,292	21,326
貸倒引当金	△1,936	△1,934
投資その他の資産合計	374,035	364,158
固定資産合計	895,076	906,341
資産合計	1,908,674	1,824,474
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	280,980	250,491
短期借入金	143,705	111,420
1年内返済予定のノンリコース借入金	7,851	7,869
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内償還予定のノンリコース社債	1,265	1,265
未成工事受入金	99,340	107,558
完成工事補償引当金	3,305	3,365
工事損失引当金	14,441	15,679
その他	154,018	143,685
流動負債合計	714,908	651,334
固定負債		
社債	100,000	100,000
ノンリコース社債	21,969	21,653
長期借入金	71,323	70,523
ノンリコース借入金	66,573	64,355
退職給付に係る負債	53,029	54,963
その他	59,423	61,687
固定負債合計	372,319	373,183
負債合計	1,087,227	1,024,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,116	43,116
利益剰余金	563,628	555,736
自己株式	△21,615	△29,142
株主資本合計	659,494	644,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,863	126,875
繰延ヘッジ損益	236	250
土地再評価差額金	25,831	25,831
為替換算調整勘定	△3,556	△1,888
退職給付に係る調整累計額	△581	△1,239
その他の包括利益累計額合計	155,794	149,829
非支配株主持分	6,157	6,051
純資産合計	821,446	799,956
負債純資産合計	1,908,674	1,824,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高		
完成工事高	271,585	291,315
開発事業等売上高	42,654	25,324
売上高合計	314,239	316,640
売上原価		
完成工事原価	246,362	272,869
開発事業等売上原価	34,790	19,721
売上原価合計	281,153	292,590
売上総利益		
完成工事総利益	25,222	18,446
開発事業等総利益	7,864	5,603
売上総利益合計	33,086	24,049
販売費及び一般管理費	19,557	21,512
営業利益	13,528	2,536
営業外収益		
受取利息	313	187
受取配当金	2,540	2,348
その他	2,219	484
営業外収益合計	5,072	3,020
営業外費用		
支払利息	716	682
その他	328	433
営業外費用合計	1,044	1,115
経常利益	17,557	4,441
特別利益		
固定資産売却益	137	3,543
特別利益合計	137	3,543
特別損失		
固定資産売却損	6	2
投資有価証券評価損	481	18
感染症関連損失	3,954	—
特別損失合計	4,442	21
税金等調整前四半期純利益	13,251	7,964
法人税等	5,007	5,380
四半期純利益	8,244	2,584
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△192
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,249	2,776

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	8,244	2,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,053	△6,977
繰延ヘッジ損益	166	13
為替換算調整勘定	△1,797	1,725
退職給付に係る調整額	273	△656
持分法適用会社に対する持分相当額	120	△6
その他の包括利益合計	8,818	△5,900
四半期包括利益	17,062	△3,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,335	△3,188
非支配株主に係る四半期包括利益	△272	△128

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月10日開催の取締役会において、当社普通株式28,000,000株、取得価額の総額20,000百万円を上限とした自己株式の取得を決議し、当第1四半期連結累計期間に当社普通株式8,407,300株を7,526百万円で取得しました。当該自己株式の取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が7,526百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末の「自己株式」は29,142百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

収益認識会計基準等の適用にあたっては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首において、会計方針の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、利益剰余金の当期首残高は3,086百万円増加しております。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,575百万円、売上原価は1,235百万円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ340百万円減少しております。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

時価算定会計基準等の適用にあたっては、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従っており、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であります。当社グループにおいては、感染拡大防止策を一層強化・徹底したうえで、建設業における雇用の確保など、経済活動の維持のため今後も工事を継続することを前提に、工事原価総額の見積り、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、今後、新型コロナウイルス感染症の動向、国内外の設備投資動向など、様々な要因により経営環境が大きく変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	243,255	14,034	56,949	314,239	—	314,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,850	—	32,128	38,979	△38,979	—
計	250,105	14,034	89,078	353,219	△38,979	314,239
セグメント利益(注1)	9,200	3,896	1,670	14,767	△1,238	13,528

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでおりません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業及び子会社が営んでいる各種事業を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額△1,238百万円は、セグメント間取引消去等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	263,548	6,875	46,216	316,640	—	316,640
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△636	30	24,289	23,683	△23,683	—
計	262,911	6,906	70,505	340,323	△23,683	316,640
セグメント利益(注1)	6,036	2,777	727	9,541	△7,004	2,536

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでおりません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業及び子会社が営んでいる各種事業を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額△7,004百万円は、セグメント間取引消去等であります。

以 上